



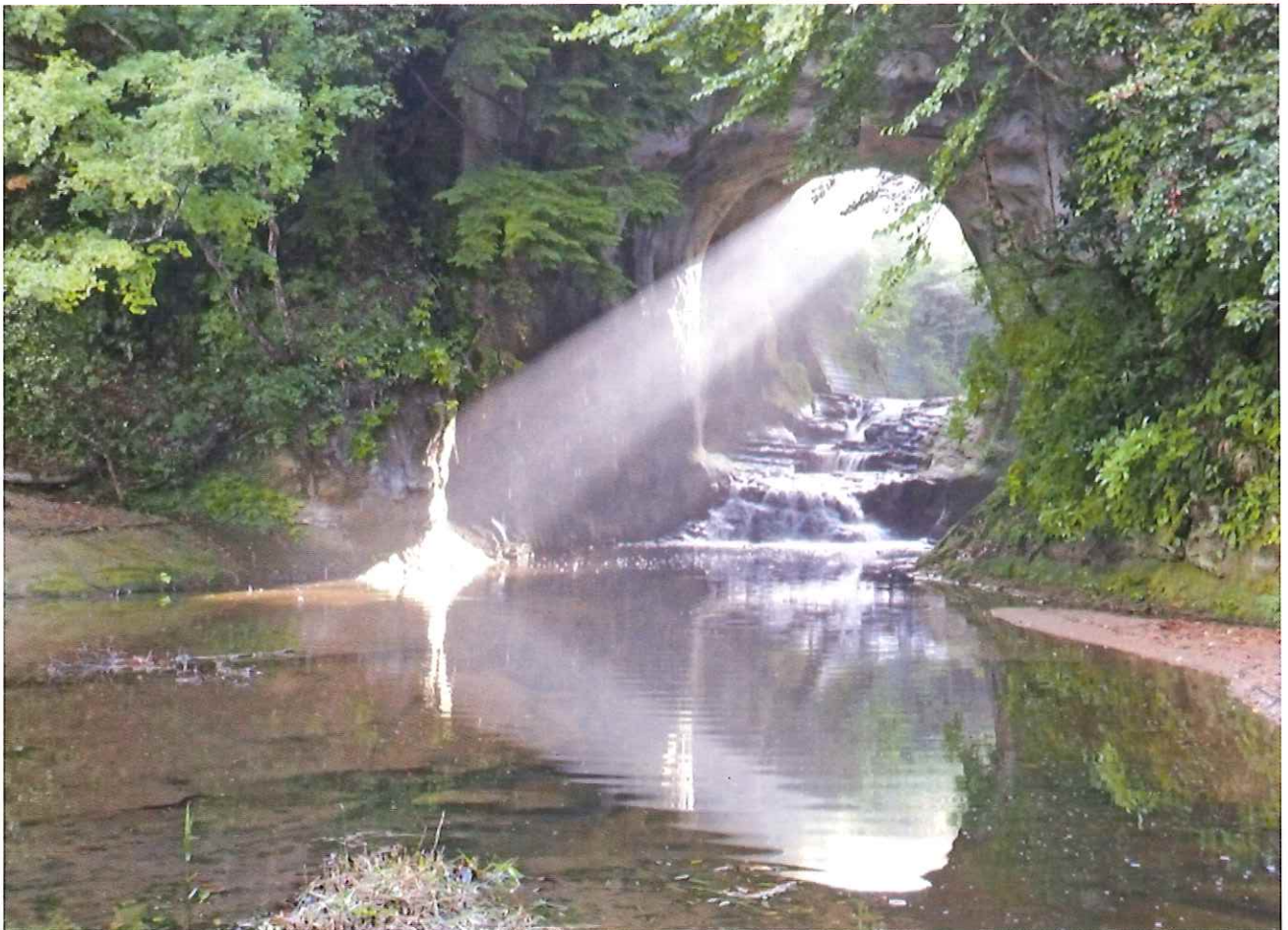
# 消防千葉

**2016 No.548** 平成28年10月号

---

平成28年10月1日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



清水溪流広場・濃溝の滝（君津市）君津支部



## 巻 頭 言

## 「地域住民の安心・安全のために」

山武郡市広域行政組合消防本部 消防長 鈴木 嘉宏



山武郡市広域行政組合消防本部が管轄する地域（東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町）は、千葉県の東部に位置しており、北は成田国際空港、南は日本有数の砂浜海岸である九十九里浜に面しています。温暖な気候で稲作はもちろん野菜や果実の生産も盛んで、九十九里浜の海の幸と、自然の恵み豊かな地域であるとともに、観光地として海水浴やサーフィンが楽しめる地域であります。

当組合消防本部は、昭和42年に発足した東金市消防本部を前身として、昭和48年に当時の山武郡内1市6町1村から構成された組合消防へ移行し、平成18年の市町村合併（成東町・松尾町・山武町・蓮沼村の合併で山武市）を経て、平成25年には大網白里町が市制を施行したことにより、現在は3市2町となり、平野と台地からなる約362 k m<sup>2</sup>を1消防本部3署3分署1出張所、職員数273名で地域住民の安心・安全のため日々消防業務に邁進しております。

現在、防災拠点の要となる消防庁舎の整備を図るため、老朽化や狭隘化が進み耐震性に問題のあった中央消防署の移転新築工事を行い、平成24年3月に消防本部・中央消防署合同庁舎が完成しました。その他の庁舎についても、同様の見地から担うべき機能を適切に発揮することができるよう、消防庁舎建設基本計画を策定し、本計画に基づき整備を進めているところであり、平成27年8月、山武市に東消防署山武分署が完成し、本年度は、大網白里市に南消防署を建設中で、平成29年2月に完成する予定となっております。なお、東日本大震災発災時に消防車両の運用に必要な燃料の確保に苦慮した経験を活かし、自家用給油取扱所を東消防署山武分署に整備するとともに、建設中の南消防署にも整備を進めております。

また、消防車両については、平成25年1月に支援車Ⅱ型、平成27年3月にバス型化学消防ポンプ自動車を導入、そして、平成28年3月に救助工作車Ⅲ型を整備し、人命救助に関する専門的かつ高度な知識・技術を持つ災害救助のエキスパートである救助隊員で構成する高度救助隊「SANBU BRAVE HAWKS」を発隊しました。

この他にも、技術及び経験豊富なベテラン職員の大量退職期を迎え、総合的な消防力低下の対応策として、新規採用職員を対象としたOFF-JT研修を実施するとともに、各年齢層を対象とした各種資機（器）材取扱訓練、消防活動訓練、救助活動訓練、救急活動訓練及び指揮隊運用訓練等を実施して消防職員として必要な知識及び技術の習得を図っております。

今後も、地域住民の安心・安全のため、複雑多様化する災害にも対応できる消防力の充実・強化に向けて職員一丸となって努めてまいります。

## 第37回九都県市合同防災訓練(千葉県会場) 「茂原市富士見公園」で実施!

県では、防災関係機関の災害対策の充実強化と県民の防災意識の高揚を図るため、大規模な地震の発生を想定し、第37回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)が8月27日(土)に茂原市において実施されました。

### 訓練概要

#### 1 実施日時・場所

日 時 平成28年8月27日(土) 9:00 ~ 12:30

場 所 茂原市富士見公園  
(茂原市東郷2078)

#### 2 主 催

千葉県、茂原市、公益財団法人千葉県消防協会

#### 3 訓練規模

- (1) 参加機関 約100機関  
県・市のほか、自衛隊、警察、消防機関、医療関係団体、ボランティア団体 等
- (2) 参加人員 約5,000人

#### 4 訓練想定

- (1) 実働訓練(9時から11時30分まで)  
千葉県東方沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が午前8時に発生。  
茂原市では震度6強を記録するとともに建物の倒壊や道路の損壊が多数発生し、電気、ガス、水道等のライフライン機能も麻痺していることを想定。
- (2) 避難所運営訓練(9時から12時30分まで)  
多数の家屋が倒壊したことから住民は避難所での生活を余儀なくされた。  
発災から1週間程度までの避難所運営を想定。

#### 5 今回の訓練の特徴

- (1) 「自助」「共助」「公助」の連携強化を主眼とした訓練  
防災関係機関だけでなく、ボランティア団体などとも緊密な連携・協力を図った実践的な訓練を実施する。
- (2) 熊本地震における課題を意識した訓練  
救援物資の仕分け整理や長期化する避難生活への対応など、住民参加により防災意識を高めるための訓練を実施する。



森田知事



田中茂原市長



石橋消防協会長



<主な訓練項目>

○実働訓練／各機関の連携強化と防災能力向上を目的とした訓練

- ・倒壊建物や土砂埋没車両、高層建築物等からの被災者の救出救助など
- ・ヘリコプターによる被災者救助や医師団の搬送などの航空機運用など
- ・被災者を応急救護所に搬送しトリアージ等を迅速に行う医療救護など

○避難所運営訓練／避難所運営を想定した住民参加体験型の訓練

- ・避難所生活における体の動かし方の工夫や感染症の予防など
- ・住民への防災啓発など



宇野県会議長



倒壊物からの救出



救助犬による救出



埋設車両からの救出





高層建築物からの救出



トリアージ活動



航空機運用訓練

# 浦安市少年消防団快挙 全国大会第3位



浦安市少年消防団が、全国の少年消防クラブが消防技術などを競う大会で見事に3位に入賞しました。

大会は、平成28年8月3日(水)～5日(金)に宮城県南三陸町で開催された消防庁主催の「少年消防クラブ交流会」で全国から43クラブが参加しました。浦安市少年消防団からは、鮎原颯(あゆはらはやと) 東小6年、佐々木悠人(ささき ゆうと) 舞浜小6年、長谷部文昭(はせべ ふみあき) 明海南小6年、小川真奈(おがわ まな) 東野小6年、米澤夏菜(よねざわ なな) 北部小6年の5人が出場しました。

東野小6年、米澤夏菜(よねざわ なな) 北部小6年の5人が出場しました。

合同訓練の「クラブ対抗リレー」では、障害壁、ホースボーリング、水消火器、トンネル、ホース延長で競い、「障害物競争」では障害を越えながらホース延長やロープ結索を競い、日頃の訓練の成果を十分発揮し、100秒を切る98.2秒の大変良い成績で入賞を果たしました。

浦安市少年消防団は、将来の地域防災の担い手育成を目的として、平成24年4月に発足、現在小学5年、6年生で活動し、消火器や放水の訓練、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学んでいます。

合同訓練表彰式



クラブ対抗リレー





## 第162期 消防職員初任科生卒業 千葉県消防学校

平成28年9月15日(木)、千葉県消防学校の消防職員初任科第162期の卒業式が行われました。4月の入学から6ヶ月、28所属129名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、開式のことば、国歌斉唱の後、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授受を受け、最優秀賞1名、優秀賞12名、努力賞6名の表彰が行われ、八田千葉県消防学校長の告示、千葉県知事(代理浜本防災危機管理部長)・千葉県消防協会長(代理齊藤専務理事)等の祝辞がありました。



学校長告示



知事(浜本防災危機管理部長)祝辞



会長(齊藤専務)祝辞

また、前日の14日(水)には、教育訓練の成果を確認するために10時から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、体力向上体操、救急訓練、救助訓練、最後には災害防ぎょ活動の部隊行動を基本に、救出訓練と一斉放水訓練を実施し、初任科で習得した消防活動・救急活動の集大成として、全員により、火災防御・救急救助技術を披露しました。





## 第25回全国消防操法大会 千葉県代表(南房総市消防団)激励会

平成28年9月13日(火) 午前10時から千葉県本庁舎5階大会議室で、県主催による第25回全国消防操法大会千葉県代表激励会が開催されました。

全国消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的として、各都道府県の代表が出席し開催される「第25回全国消防操法大会」に、本年7月の千葉県消防操法大会においてポンプ車操法の部の最優秀賞を受賞した「南房総市消防団」が出席するに当たり、活躍を祈念し、激励を行うとともに、高橋副知事からのぼり旗の交付を行いました。





# わが町の消防団 ① 成田市消防団

現在の成田市は、管内に成田国際空港を擁し、世界各国からの多くのお客様にご利用いただいております、世界に通じる国際空港都市として知られているところではありますが、古くから大本山成田山新勝寺の門前町として多くの参拝客が集まる信仰のまちでもあります。

この大本山成田山新勝寺は、10世紀中ごろ平将門の乱を平定するため、寛朝大僧正が不動明王を奉じて御護摩を焚いたことが起源とされ、その後、成田詣がブームとなり、現在も多くの参拝客で賑わっております。また、本年4月に成田市・佐倉市・香取市・銚子市が「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の街並」として、日本遺産審査委員会の審査を経て文化庁より日本遺産に認定されました。

当市消防団は平成18年の市町村合併により現在の体制となり、総員1,422名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車19台、小型動力付き積載車77台で地域防災の任に当たっております。



東日本大震災を契機に災害時における情報伝達手段の重要性を再認識し、震災の翌年には、全分団にデジタル簡易無線機を配備いたしました。また、被害状況の把握、住民の避難誘導、避難行動要支援者の安否確認と、初動体制の強化を主眼とした大規模災害訓練を毎年積極的に実施し

ており、地域防災体制の強化を図っております。

当市消防団員は、水防団員も兼任しております。管内には利根川をはじめ複数の一級河川が縦横に流れ、古くから治水の歴史を有しており水防に対する意識が高く、早くから水防演習や各種水防工法の習得訓練を実施して参りました。水防演習は利根川及び印旛沼の氾濫危険区域の自治体等で構成される印旛地区水防管理団体連合会が主催し、各種の水防工法をはじめ、水害時の初動対応を中心に消防団が活動の主体となり、消防本部や自治体地域住民等と連携した総合的な演習として実施しております。更には、団員の士気の高揚を図るため、消防操法大会を毎年開催し全国大会優勝を目標に訓練に励んでおります。



市民の安心・安全を確保し、消防団組織の活性化を図る事を目的に、当市消防団においても



来年4月に女性部を発足することとなりました。女性部には、男性とは違った地域とのつながりを持ち、きめ細やかな女性の視点から、地域の安全を守る新たな力として活動されることを期待しております。

今後も、郷土愛護の精神のもと村島消防団長以下消防団員が一丸となり、市民に「安心・安全」を届けるため地域防災に邁進して参ります。



# わが町の消防団 ②

## 市原市消防団

### 1. 沿革

市原市は、古くは上総の要衝として栄え、海や山などの緑豊かな自然に恵まれたまちであり、古代から居住に適していたことは、数多くの貝塚や古墳群が物語っています。

近代に入り明治4年の廃藩置県によって、鶴牧、鶴舞、菊間の各藩がそれぞれ県となり、後に木更津県の一部になりました。

明治6年には市原郡として組み込まれ、明治22年の町村制定時に市原郡は、ほぼ現在の大字にあたる172町村を合併して21町村が設置されました。



昭和20年代後半以降、全国的な市町村合併促進の機運は市原郡内でも見られ、昭和36年には、市原町、五井町、姉崎町、三和町、市津町、南総町、加茂村の6町1村となりました。

昭和34年から始まった臨海部コンビナートの建設が、本市合併推進の大きな背景となり、昭和38年5月に北部の5町によって県下19番目の市原市が誕生しました。昭和42年10月には南総町、加茂村の1町1村を加え1郡を1市とする広域都市となりました。平成28年4月1日現在、総人口279,396人、世帯数123,435戸となっています。



### 2. 位置及び面積

本市は首都東京から約50km圏内で東経140° 7' 07"、北緯35° 29' 42" (海拔26.71m) で千葉県ほぼ中央部に位置しています。北は千葉市、東に茂原市、長柄町、長南町、南に大多喜町、君津市、西に木更津市、袖ヶ浦市の5市3町と隣接しています。

市域面積は、368.20km<sup>2</sup>で、ほぼくさび形をしており、その範囲は東京湾から房総丘陵にかけて、東西22km、南北36kmにおよぶ広域都市です。



### 3. 消防団の概要

当市消防団は、昭和38年5月に5町が合併し、市原市消防団を発足、昭和42年10月に1町1村を合併し1団、8支団、182分団、3,505名となりました。その後、幾多の組織改革を経て現在1団、7支団、85分団、1部、条例定数1,633名の編成となり、平成28年4月1日現在1,403名となっております。



当市も少子高齢化、団員のサラリーマン化が進み緩やかではありますが、団員数も減少している状況にあります。このような中、団員不足の対策として、当市では平成20年4月1日に施行された、消防団協力事業所表示制度をスタートさせました。さらに平成27年4月1日からは消防職員や消防団員のOBが、大規模災害や主に基本団員が手薄になる平日昼間の災害に活動できる「災害支援団員制度」

を導入するなど、消防団の環境整備を積極的に図っております。

また、女性の社会進出は著しいものがある中、当市では予防啓発部として21名の女性団員が、市民に対し救命講習・一般家庭防火診断・火災予防週間中における各種イベント会場等での予防啓発活動を実施し、広く市民に火災予防PRを展開するとともに、消防団員の加入促進にも積極的に活動をしています。

今後、地域や事業所などの積極的な支援と協力をいただき、団員の確保に取り組み消防団の充実強化を図ってまいります。





# 東 西 南 北

## 東 西 南 北 4機関がタッグを組み！ 駅前繁華街の夜間特別査察実施

### 柏市消防局

旭町消防署では、6月2日(木) 19時から柏駅西口の繁華街において、雑居ビルを対象に、夜間特別査察を実施しました。安心・安全な街づくりを地域一丸となり実現するため消防、警察、市役所及び地元商店会とタッグを組み、消防用設備、避難及び火気の維持管理状況を確認し、それぞれの目線に立っ



て検査することで、異なる観点から細かな査察が実現でき、関係者への予防意識向上に効果が上がったものと思われます。

また、街を行き交う人たちが職員に声掛けする場面も多く、関心の高さが伺えます。

今後も4機関が一致団結し、多方面に亘る協力態勢により、街ぐるみでの安心・安全かつ健全を築いていけたらと考えます。

## 東 西 南 北 消防協力者に対する感謝状贈呈式

### 市川市消防局

市川市消防局では、平成28年6月8日、人命救助協力者12名に対する感謝状贈呈式を挙行了しました。

本件は、平成28年4月5日に市内の小学校校庭において、50代の女性が心肺停止状態で倒れた際に、周囲の方々の迅速な対応及び適切な活動による連携プレー(救命の連鎖)により、早期に119番通報をするとともに、救急隊が現場に到着するまでの間、適切な応急処置(AED使用)を行い、人命救助活動に貢献された事案であります。



写真中央後 高橋消防局長、感謝状贈呈式出席者11名

## 東 西 南 北 ～アナウンス講座フォローアップ研修～

### 千葉市消防局

千葉市消防局では、「話し上手」な消防士になるために、6月23日、24日、「アナウンス講座フォローアップ研修」を実施しました。

この研修は、将来を担う若手消防職員を対象にして3月に実施した「アナウンス講座」の文字通り「フォローアップ」です！受講対象者は、前回の受講職員。習得したことをさらに実践に使えるよう磨き上げます！

前回同様、元NHKアナウンサーの相澤 静 講師、3月の内容を踏まえ、表情のトレーニング、「間」の使い方などを伝授してくれました。

その後はアナウンスの実践を繰り返し、全員で細かくチェック！皆、見違えるように成長し、大変充実した研修となりました。

この職員たちが中心となり、わかりやすく、伝わる消防広報を実践します！







## 火災調査を取り仕切る者たち ～調査指揮者研修～

### 千葉市消防局

千葉市消防局予防課では、「火災調査」の知識・技術の向上を図るため、約2か月に1回のペースで、各種テーマに沿って研修会を実施しています。

今回は、6月13日、14日『調査指揮者』と呼ばれる、火災調査を取り仕切る職員の知識向上を図るための研修会を行いました。現場経験の豊富なベテラン職員が中心でしたが、知識を習得するために講師の話を真剣に聞く姿が印象に残りました。彼らが中心となり、時には警察、時にはメーカー技術者などと渡り合い、消防として責任をもって類似火災の防止のため、市民の安全・安心のために!! 原因を特定していきます。



## 危険物安全週間中に合同訓練を実施

### 野田市消防本部

野田市消防本部では、平成28年6月10日（金）、危険物安全週間中にサカティクス株式会社東京工場において事業所員、消防職員合わせて約260名が参加し、危険物火災合同消防訓練を実施しました。

訓練は、直下型地震が発生したことにより事業所内の危険物倉庫から火災が発生したことを想定し、事業所員による緊急作業停止訓練、119番通報、初期消火、避難誘導、情報伝達訓練などを行い、消防本部は危険物火災に対応する化学車等の部隊が出動し、泡消火剤を用いた消火活動、建物内に取り残された人命救助訓練などを行いました。



今回の訓練で、地震発生時の事業所の迅速な初動対応、適切な初期消火活動、消防本部との連携活動の重要性を再確認し、危険物火災に対する消火活動の技術の向上を図ることができました。



## 機関員養成講習を実施

### 君津市消防本部

君津市消防本部は平成28年6月24日、管内のモータースクールのコースを借用し、消防用自動車等を運転しようとする機関員の技術向上及び車両の効率的運用、事故防止を図ることを目的に機関員養成講習を実施しました。

講習はモータースクール教官の法令指導、技術指導を受けながら、大型化学高所放水車、梯子車等の大型消防車両をはじめ、水槽付消防ポンプ車、救急車等でコース内の狭隘進入、方向変換、路肩停止・発進、S字コース、見通しの



悪い交差点、クランクコース、坂道発進、踏み切り通過等の設定された課題を走行しながら、消防本部の車両管理責任者が新たに機関員になろうとする職員に対し、評価を実施しました。

今後もこの講習により安全かつ確実に車両を取り扱える機関員を養成していく。





## 東西南北 スゴッ!! ☆消防艇かっこいいね!

千葉市消防局

6月25日(土曜日)千葉市中央消防署臨港出張所(千葉市中央区中央港)で、市民見学会を開催しました。初公開の消防艇「まつかぜ」でしたが、事前申し込みいただいた多くの方々に参加いただき大盛況となりました!



消防隊やレスキュー隊の訓練に大歓声が上がリ、さらに消防艇「まつかぜ」の一斉放水訓練は、放水塔から出る放水量に大人の方々からも感嘆の声がありました。

自由見学の時間には、チビッコ達が大活躍!消防服を着て消防車前で写真撮影、ロープ渡りを真剣に挑戦してくれました。

今後も、より多くの市民の方に体験をしていただき、「身近で頼れる消防!」に努めていきます。



## 東西南北 新入社員防火教室の開催

千葉市消防局

千葉市消防局中央消防署では、平成28年6月27日(月)、管内各事業所の新社会人を対象に「新入社員防火教室」を開催しました。

この教室は、事業所における火災予防、火災が発生した場合の対応を学んで頂くことを目的に開催したものです。

火災発生、初期消火、避難誘導等一連の行動や、火災が発生時の通報及び初期消火を学んだ後、体験学習は、自動火災報知設備等の機器を操作、煙体験ハウス、水消火器を使って初期消火、地震体験車やはしご車を使用した実技を行い、短時間救命講習も実施しました。



教室に参加した方々は、初めて体験する事項が多く、戸惑っていましたが、不明な点、要領について互いに協力し助けあい、各事業所の連携を深めるとともに、終了時には参加者全員が、火災予防の重要性など認識を高めることができました。



## 東西南北 親子で学ぶ救命講習会を開催 ~ジュニアインストラクター大活躍~

千葉市消防局

千葉市花見川消防署では、夏休みに入った7月の土曜、日曜日に、管内の小学4年生から6年生を対象に、応急手当ジュニアインストラクターが子ども達を指導する、「親子で学ぶ救命講習会」を実施しました。

この講習会は、若い頃から「命の尊さ」や「助け合う気持ちの大切さ」を理解し、救命のために行動する意識の育成を目的としたものです。

また、参加した子供たちからは、「同年代のジュニアインストラクターから指導されるので、あまり緊張することなく学べた。救命について具体的に理解できた。」という感想や、保護者からは、「救命の大切さを改めて感じた。」という意見が寄せられました。

今後も、家庭などで多くの機会に救命に対する意識を深めるよう「いのちを守る教育推進」を実施していきます。





# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 28年 10月

- 4日 第 163 期初任科入校式 (消防学校)
- 13日～14日 全国消防操法大会 (長野市)
- 20日 第 52 回消防殉職者慰霊祭 (消防学校)
- 20日 消防職・団員定例表彰審査会 (消防協会)



平成28年度 全国統一防火標語  
**「消しましょう その火その時 その場所で」**

## <表紙の説明>

### 清水溪流広場・濃溝の滝 (君津市) 君津支部

都心からわずか1時間という距離にありながら、水と緑に恵まれた豊かな自然が残るまち君津市。その中でも濃溝の滝は、まるで不思議な世界への入口のようなとても幻想的な景観で、穏やかな雰囲気になっています。特に洞窟から差し込む光が水面に反射し、ハート型を描き出す写真が話題となっております。目に優しい溪流を包む緑、耳に心地よい緩やかな水の音、透き通った浅瀬の川底、そこには心癒される水と緑の自然と人が織りなす優しい時間が流れています。

初夏には蛍が舞い飛び、秋には紅葉が綺麗に色付くなど、四季折々の多彩で、表情豊かな君津の風景を歩いてみてはいかがでしょうか。

